

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金、預貯金、前渡金、未収金、未払事業費、未払消費税、前払費用、未払金、預り金、短期借入金等短期の金銭債権債務を含めることとしている。

2 収支計算書の経理区分

法人税法に基づく経理区分とし、収益事業とそれ以外の事業（非収益事業）に区分している。

3 次期繰越収支差額の内訳は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金	5,935,779	7,293,020
預 貯 金	46,301,573	73,543,630
前 渡 金		0
未収金等	85,259,636	76,874,374
前払費用	231,276	47,342
合 計	137,728,264	157,758,366
未 払 金	17,090,870	43,686,692
未払事業費	14,251,415	14,407,926
未払消費税	3,689,700	7,636,100
預り金	3,145,004	2,844,663
短期借入金	100,000,000	90,000,000
合 計	138,176,989	158,575,381
次期繰越収支差額	△ 448,725	△ 817,015

4 環境保全積立資産に期中5,709円の増減が生じているが、普通預金の利息発生に伴うものであり、決算書では積立支出、取崩し収入の計上を省略している。